

常呂川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】(案)

～タマネギ収穫量日本一を支える地域の安心・安全確保に向けた治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、常呂川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、常呂川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成28年8月洪水と同規模の洪水に対して、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

■河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備、河床低下対策、堤防強化対策等

■流域における対策

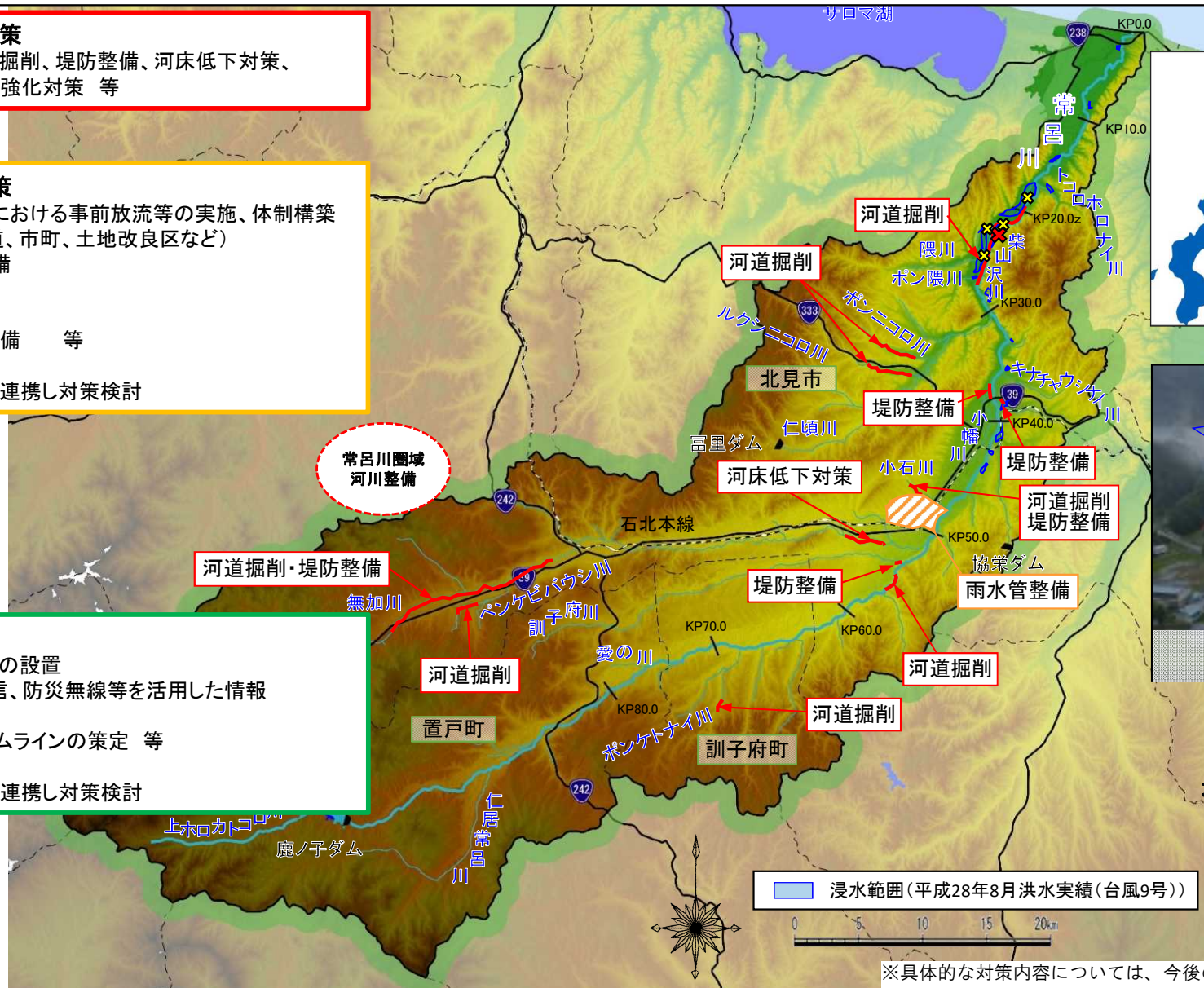
- ・利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、北海道、市町、土地改良区など)
- ・高台・避難場所整備
- ・内水排除
- ・農業排水路等整備
- ・下水道雨水管の整備 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

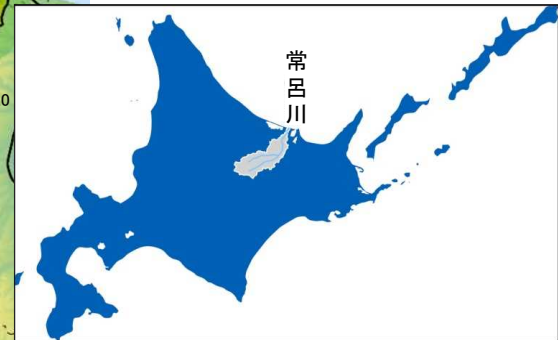
■ソフト対策

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化
- ・多機関連携型タイムラインの策定 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



【位置図】



平成28年8月洪水
被害家屋63戸、氾濫面積273ha

北海道管理河川(一級河川指定区間)

無加川、小石川 等

浸水範囲(平成28年8月洪水実績(台風9号))

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。